

アルカリ粉末洗浄剤に替わる液状洗浄剤
ダイクリナー R-630DPX

1. 特 徴

- (1) アルカリ粉末洗浄剤と同等の優れた洗浄力を有します。
- (2) 洗浄後に粉末の結晶を生じたり、強アルカリによる肌あれは起こしません。
- (3) 液体洗浄剤なので、粉末洗浄剤に比べて濃度設定が容易です。
- (4) 切削・研削油、焼入れ油をはじめ、あらゆる金属加工油の洗浄に適します。
- (5) 防錆力を有しているので、洗浄後のリンスは必要ありません。

2. 一般性状

項 目	代 表 値
外 観 (目 視)	淡黄色半透明液体
密 度 (15℃)	1.14 g/cm ³
pH (原液)	11.6
(3%液)	9.8
糖 度 (3%液)	1.2
アルカリ値 (3%液)	6.0
採取量 10ml 滴定液 N/10 硫酸 終 点 pH = 7 ブロムチモールブルー	
廃液処理性 (1%液) 未処理	730
COD ppm 処理	640
処理法 : 硫酸バンド 3000ppm 苛性ソーダ 1000ppm 高分子凝集剤 5ppm	

3. 使用方法

- (1) 洗浄方法 : 浸漬洗浄、シャワー洗浄、スプレー洗浄
 - (2) 使用濃度 : 1～10% (3%が標準濃度)
 - (3) 使用温度 : 40～70℃ (高温ほど洗浄性良好)
- * 熱処理後の洗浄ではワークの温度が80℃以下で洗浄して下さい。

4. 取扱い注意事項

- (1) アルカリ液のため、素手で使用しないようにして下さい。
- (2) もし使用中に手や肌、衣服に付いた場合は、直ぐに水道水で洗ってください。
して下さい。
- (3) 眼に入った場合は、流水(水道水)で十分に洗眼して下さい。

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： **ダイクリーナー R-630DPX**
会社名： 大同化学工業株式会社
住 所： 奈良県大和郡山市額田部北町 1021
担当部門： 品質保証部 担当者： 森下 仁視
電話番号： 0743-56-1201 F A X 番号： 0743-56-1204

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

		(w t %)
成分及び含有量：	アミン系防錆剤	30～40
	リン酸塩	5～15
	合成脂肪酸	1～5
	乳化剤	1～5
	防食剤、消泡剤	少量
	水	残

3. 危険有害性の要約

分類の名称： 分類基準に該当しない
危険性： 消防法の危険物に該当しない
有害性： 有用な情報なし
環境影響： 有用な情報なし

4. 応急措置

目に入った場合：清浄な水で最低15分間、刺激がなくなるまで洗眼した後、眼科医の手当をうける。
皮膚に付着した場合：石鹼を使用し、十分に水洗いする。
吸入した場合：通風のよい新鮮な空気のある場所に移動させる。
飲み込んだ場合：水で口の中をよくすすぎ、可能であれば、指を差し込んで吐き出させ、直ちに医療処置を受ける手配をする。

5. 火災時の措置

消火剤： 消火薬剤（粉末、炭酸ガス、泡）
水が存在するので燃焼しない。水がなくなり燃焼したときは、粉末炭酸ガス、泡等の消火剤を用いる。
消火を行う者の保護：消火作業は風上から行う。燃焼ガスを吸い込まないよう注意。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項：流出した場合、河川などに排出されないように注意する。
除去方法： ウェス、吸着マット、砂等に吸収させ回収する。

二次災害の防止策： 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 眼、皮膚及び衣類にふれないように、適切な保護具を着用し、作業する。
水を含有しており、消防法の危険物ではありませんが、水の蒸発後は、
可燃性となりますので、ご注意ください。
機械や排気ダクトに、主成分が堆積する可能性があります。一定期間後に、
温水又はスチーム等で、洗浄してください。

保 管： 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
直射日光をさけ、密閉保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設 備 対 策： 特別な排気装置は不要。
取扱い場所の近くに、洗眼及び手洗い等の為の設備を設ける。
ミストが発生する場合は、発生源の密閉化または、排気装置を設ける。

許 容 濃 度： 管 理 濃 度：データなし
許 容 濃 度：データなし

保 護 具： 呼吸用保護具：通常は必要としない。
密閉された場所及び蒸気の発生の多い場合は、必要に応じて、
防毒マスク又は、送気マスクを使用する。
保 護 眼 鏡：眼、顔面への飛散保護のため、保護眼鏡(ゴーグル型等)を使用する。
保 護 手 袋：耐油性保護手袋
保 護 衣：定められた作業衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：淡黄色半透明液体
密 度： 1.14 (15℃ g/cm³)
粘 度： — (40℃ mm²/s (cSt))
溶解度： 水に溶ける P H： 11.6 (原液%)
引火点： なし 発火点：データなし
可燃性： なし (但し、水の蒸発後は可燃性となる)
発火性 (自然発火性)： なし
酸化性： なし
自己反応性・爆発性： なし
粉じん爆発性： なし

10. 安定性及び反応性

安定性：安定
反応性：反応性ほとんどない。但し、強酸化剤との接触を避ける。

1 1. 有害性情報

(参考) IARC (グループ1) EU (カテゴリー1) 双方で、人に対して発がん性があるとされている潤滑油は、含有されていません。

1 2. 環境影響情報

分解性、蓄積性については、有用な情報なし

1 3. 廃棄上の注意

適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

空容器には残油があるので、空容器の切断、熔接、穴あけ等の加工をしないこと。

燃焼処理を行う場合は、少量ずつ燃焼させること。

1 4. 輸送上の注意

国連分類及び国連番号：分類基準に該当しない

国内規制：

輸送に当たっては、消防法、危険物の規則に関する規則に従う。

容器については、消防法、危険物の規則に関する技術上の基準に

定めたものを使用する。

1 5. 適用法令

消 防 法：該当しない

労働安全衛生法：該当しない

航空法、港則法：該当しない

P R T R 法：該当しない

1 6. その他の情報

問い合わせ先：大同化学工業㈱ 技術管理部 TEL 06-6346-5111 FAX 06-6344-0888

引用文献等： 化審法 既存化学物質 ハンドブック第4版 化学工業日報社

製品安全データシートの作成指針(平成4年8月)

石油製品安全データシート作成の手引き (平成9年2月)

製品安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づき作成され、化学製品を安全に取扱う為の参考情報として提供されるものであり、安全を保証するものではありません。
なお、記載内容の内、含有量、物理化学的性質等の値は、保証値ではありません。